

事務事業名	家庭生ごみ分別収集推進事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	14 終了		
H29作成課等名	環境課	H29係等名	廃棄物対策係	H28担当課等名	環境課			
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり					
	施策	56	廃棄物の減量と適正処理					
目的	対象(誰・何を)	・旧市内JR飯田線東側区域の一般市民			指標名及び単位			
	意図(どういう状態にするか)	・区域内家庭からの生ごみを堆肥化することにより、再利用する。			対象区域内の世帯数 (4月1日現在)			
	向上させたい上位施策の成果指標	ごみの収集量			28年度数値			
					2827			
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	年間の家庭生ごみ分別収集量(t)		153	148	151	148	
	成果指標	参加町内の世帯数		2854	2864	2848	2827	
	定性目標							
事業概要	旧市内JR飯田線東側地域内の、家庭から排出される生ごみを分別収集する。							
	1 家庭から排出されるごみの減量化の推進							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 家庭から排出されるごみの減量化の推進 (1) 家庭生ごみ分別収集の実施 ア 家庭生ごみの分別収集運搬委託 イ 「飯田市堆肥センター」の見学会の実施			1 (1)ア 家庭生ごみ分別収集量 イ 見学会実施回数		1 (1)ア 148t イ 0回		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		13,522	13,527	13,465	0	(そ)ごみ処理手数料		
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他		11,767	11,577	11,336				
一般財源		1,755	1,950	2,129				
人件費計(千円)②		2,146	2,217	2,217	0			
正規職員所要時間		600	620	620				
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		15,668	15,744	15,682	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り	家庭生ごみ分別収集量は、前年度と比較して減少し、「飯田市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(平成24年度～28年度)」における計画値15tをわずかに下回った。							
改革改善の考え方	①問題点	議会から事務事業に対して「事業が開始された当初と社会情勢も変化しており、市内の一部地域に約1,500万円の事業費を投じることには問題がある。事業の見直しを行い、新しい方向性を検討されたい。」と提言を受けている。						
	②改革提案	「問題がある。」との提言を重く受け止め、稲葉クリーンセンターへの移行のタイミングに合わせて事業を廃止することとした。						